

アカアシドゥ克蘭グールの「ムー」が死亡しました (よこはま動物園)



元気なころの「ムー」

よこはま動物園で飼育していたアカアシドゥ克蘭グールの「ムー」が死亡しましたので、お知らせします。

○アカアシドゥ克蘭グール「ムー」

- (1) 性 別 メス
- (2) 出 生 日 平成 25 年 12 月 27 日 (7 歳 3 か月)
- (3) 死 亡 日 時 令和 3 年 4 月 9 日 (金) 15 時頃死亡確認
- (4) 死 因 成長期の発育不全による衰弱

● ムーのプロフィール

オスのコイとメスのツバオの間に平成 25 年 12 月に生まれました。ツバオが体調不良になったことから人工哺育で育ち、バックヤードで飼育していました。甘えん坊な性格で、人にかまってもらうのが大好きでした。一昨年冬から体調を崩しがちになり、ムーの体調を考慮しながら飼育してきましたが、令和 3 年 4 月 9 日に死亡を確認しました。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■アカアシドゥ克蘭グールについて

和名	アカアシドゥ克蘭グール
英名	Red-shanked Douc Langur
学名	<i>Pygathrix nemaeus</i>
分類	霊長目 オナガザル科
分布	ベトナム、ラオス、カンボジア
生態	熱帯雨林およびモンスーン林に10頭程の群れで生活しています。リーフイーター(葉喰いザル)の仲間、木の葉や果物などを主食としています。以前は、南方に分布している脚の黒いクロアシドゥ克蘭グールや灰色のハイイロドゥ克蘭グールとともに亜種とされていましたが、現在では独立した種となりました。ベトナム戦争の時に、米軍によって散布された枯葉剤によって生息地の大半を失って数が激減したと言われており、生存が極めて危険な状態にあります。
ワシントン条約(CITES)	附属書I: 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合(IUCN) レッドリスト	絶滅危惧種 (EN) : 近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
当園飼育頭数	11頭 (オス6頭、メス5頭) ※令和3年4月9日現在 ※今回死亡した個体は含まず
国内飼育園館	よこはま動物園ズーラシアのみ

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料 (要学生証等)
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆開園時間：9:30～16:30 (入園は 16:00 まで)
- ◆休園日：毎週火曜日 (祝・休日の場合は開園し、翌日休園) ※3 月 24 日～5 月 10 日は無休
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から
「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアでは、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

- ・土日祝日の入園には、整理券の事前予約が必要となります。
- ・1日の入園者数を8千人程度に制限します。
- ・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。

その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。